

## 平成30年度事務事業評価議会評価報告書に対する予算反映等改善書

事業名 7-2-10 公民館整備事業

### 【予算反映等改善事項】

公民館は、地域の社会教育の拠点施設としての機能はもとより、地域住民の交流拠点としても広く活用されております。公民館運営委員会等の住民組織で自主的な運営をし、それぞれの地域自治を育む施設として最も適した施設であると言えます。加えて、台風等の大雨時の避難や地震での家屋被災などの際の一時的な避難所としても重要度が増しております。

現状としては、複合施設3館を含む11公民館がありますが、将来の人口減少を鑑み、施設の耐用年数を考慮して大規模改修や更新等の整備計画を「小松島市公共施設等総合管理計画」に基づいた個別施設実施計画として策定する必要があると考えています。その際には、統廃合に加えて他の用途施設との複合化を念頭に、本市の公共施設の全体数や規模の適正化を図り、将来におけるライフサイクルコストを低減させることによる本市財政への負担減は重要であると考えております。一方で、地域自治の維持や発展のため、過剰な削減とならないよう各公民館、公民館運営審議会等第三者の意見も十分に聞き、適切に施設運営や維持をしていく必要があるとも考えております。

既存施設については、老朽化の進展のほか、大半の施設が耐震性もない状況から、既にご承知のとおり問題点を解消したうえで年次的に大規模改修や改築を進めている状況にあります。改築等の際には、各公民館長、公民館運営委員会とも意見交換や協議を行い、すべての利用者が安全で安心して利用できるよう配慮した設計になるよう取り組んでいます。

既存施設の状況と、中長期的な利用者数の推移を十分勘案し、将来の適正な施設数や規模となるよう整備方針を検討し、年次的に必要な整備を図っていきたいと考えております。